

チュラロンコン大学(タイ)からの短期留学生を受け入れました。

チュラロンコン大学は、1917年に設立されたタイで最も古い歴史をもつ国立大学です。同校とは、2018年に歯学部との学部間協定を締結し、2020年には同校Allied Health Sciences学部と本学のリハビリテーション科学部との間でも学部間協定を締結。COVID-19の影響で交流ができない状況でしたが、6月27日～29日の3日間、初めてAllied Health Sciences学部からの短期留学生3名を受け入れました。本学リハビリテーション科学部、地域包括ケアセンター及び大学病院等で研修を行い、最終日には本学学生との交流会も開催。短期間



でしたが、充実したプログラムとなりました。来年3月には本学リハビリテーション科学部と歯学部の学生の派遣が予定されており、同校との交流が益々活発になることが期待されます。

モンゴル国立医科大学と大学間交流協定を締結しました。

創立80年を超える医療系総合大学であるモンゴル国立医科大学と本学との大学間協定を締結しました。同校は世界100を超える大学や研究所と連携協定を交わしており、グローバル化のもと目覚ましい発展を遂げてきています。6月15日の調印式では、浅香正博学長とKhurelbaatar Nyamdavaa学長による協定書への署名が、同大学の副学長4名、国際交流担当ディレクター等の立ち会いのもと行われました。調印式の後は、看護学部長(リハビリ部門を含む)、薬学部長、歯学部長とそれぞれ



面談し、今後の交流について具体的な協議と各学部施設の見学を行いました。同校とは2017年に歯学部間にて学部間協定を結んでおりますが、今回の大学間協定締結により、今後は看護福祉学部、薬学部、リハビリテーション科学部等での交流も期待されます。

口腔ケアアンバサダー認定資格試験で薬学部生34名全員が合格しました。

3月8日に本学薬学部の学生(希望者)を対象に、口腔ケアアンバサダーの認定資格試験が行われました。本学薬学部の1～5年生までの受験者34名全員が合格し、6月8日に認定証の配布式が行われました。この試験は、日本口腔ケア学会 薬剤師部会の評議員を務める教員が在籍している大学の薬学部生が対象です。合格すると口腔ケアアンバサダーの認定資格を取得できるほか、日本口腔ケア学会の会費無料の準会員として登録ができ、就職等の履歴書にも記載できます。薬剤師が口腔ケア?と思われるかもしれませんが、超高齢社会になり、在宅医療などの場では口腔ケアがとても重要。薬剤師でも口腔ケアの知識が求められる時代となり、将来役に立つ資格といえます。今後も試験の実施を予定していますので、多くの薬学生を受験に期待しています。

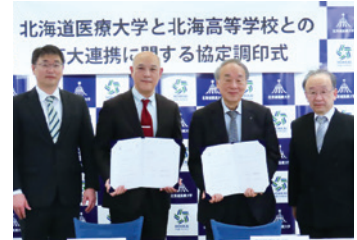


北海高等学校との高大連携に関する協定が締結されました。

3月27日、北海高等学校(札幌市豊平区)と本学は高大連携に関する協定を締結しました。本学が高等学校と連携協定を締結するのは13校目となります。同校と本学の間の連携は、相互間の信頼関係を構築すること、新たな高大連携活動を通じて、大学生・高校生のより良い進路選択やキャリア構築の支援、教育・研究に関する相互理解の促進に取り組むこと、そして、大学教育や高校教育の発展に寄与することを目的としています。

北海高等学校との連携内容

- 1 大学と高等学校の教育活動(授業等)に対する支援
- 2 大学と高等学校との共同研究の実施
- 3 大学と高等学校との連携に関わる既存施設・設備の利用
- 4 その他、必要とする連携



EDITOR'S NOTE

新型コロナウイルス感染症の扱いが2023年5月から5類感染症相当へと変更になりました。北海道医療大学における学生・教職員の生活もコロナ禍前のものへと戻つつあります。そのことを強く実感するのは大学内で見かける人と人との物理的な距離です。一廊下を談笑しながら歩く学生たち、パーティションのないテーブルでディスカッションする学生と教員。明らかにコミュニケーションを図る距離が短くなりました。

オープンキャンパスについても接触制限のないプログラムが展開されるようになっており、参加していただいた高校生や保護者からの評判も上々のようです。プログラムの内容そのものの良さはもちろん、文字通り密接に関わることできた教職員や在学生の人柄や雰囲気を通じて北海道医療大学の魅力が参加者にしっかり伝わっているのだと感じています。

この広報誌はコロナ禍以前より「大学ではこのようなことを行っています」、「在学生はこんなすごいことを成し遂げました」、「教職員はこんな活動を行いました」という情報を大学内外に発信する役割を果たしています。今後もこの役割に変わりはありません。おそらく、この広報誌を読まれている方の中には大学からソーシャルディスタンス以上に距離が離れた方も多くいらっしゃることでしょ。そんな方々にもこの広報誌を通じて北海道医療大学の存在を、より近くに感じていただければ幸いです。

今後も北海道医療大学の教職員や在学生の情報や活動について、引き続き全力で発信してまいります。皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。(Y.O記)

ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.181

STAFF ● 遠藤 泰 浜上 尚也 志茂 剛 飯嶋 雅弘
内ヶ島 伸也 奥田 かつり 鈴木 和 青藤 恵一
福田 実奈 大須田 祐亮 山田 桃子 葛西 聡子
近藤 啓 高橋 祐輔 秋元 奈美 三川 清輝
小林 昭博 土橋 幸

発行日 ● 2023年10月

編集・発行 ● 北海道医療大学広報部 入試広報課

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757

TEL: 0133-22-2113

http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしています。
E-mail: nyushi@hoku-iryo-u.ac.jp



北海道医療大学の教育理念

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを北海道医療大学の教育理念とする。